

新着図書案内 - 7月 -

	書名	著者名	出版社
1	行きたくない	加藤シゲアキ	角川文庫
2	風刺画が描いたJAPAN 世界が見た近代日本	若林悠	国書刊行会
3	あの夏の正解	早見和馬	新潮社
4	電験三種 理論 集中ゼミ	東京電機大学	東京電機大学出版局
5	電験三種 電力 集中ゼミ	東京電機大学	東京電機大学出版局
6	戦争とバスタオル	安田浩一	亜紀書房
7	告発と呼ばれるものの周辺で	小川たまか	亜紀書房
8	兵士は戦場で何を見たのか	古谷美登里	亜紀書房
9	それでもあなたを「赦す」と言う	ジェニファー・ベリー	亜紀書房
10	ユダヤ人を救った動物園	ダイアン・アッカーマン	亜紀書房
11	難民鎖国ニッポン	志葉玲	かもがわ出版
12	戦争と科学者	安西育郎	かもがわ出版
13	トビタテ！LGBTQ+6人のハイスクール・ストーリー	野原くる	かもがわ出版
14	主夫になってはじめてわかった主婦のこと	中村シュフ	かもがわ出版
15	韓国が嫌いで	チャン・ガンミョン	かもがわ出版
16	一冊で分かる韓国史	六反田豊	河出書房新社
17	10代で知っておきたい「同意」の話	ジャスティン・ハンコック	河出書房新社
18	「慰安婦」問題ってなんだろう？	梁澄子	平凡社
19	未来の医療で働くあなたへ	奥真也	河出書房新社
20	ペットが死について知っていること	ジェフリー・M・マッソン	草思社
21	人生が豊かになる映画50本	村瀬広	新日本出版社
22	夢も見ずに眠った。	絲山秋子	河出書房新社
23	くるまの娘	宇佐美りん	河出書房新社
24	俺ではない炎上	朝倉秋成	双葉社
25	死刑に至る病	榎木理宇	ハヤカワ文庫

7月分の新着図書が来ました！

いよいよ待ちに待った夏休みがやってきます。

今年の夏休みは一冊でもいいので、ぜひ本を読んで

みてください。自分を変える何かに出会えるかも！！

しれません。みなさんの訪問を、図書館でお待ちして

おります。



行きたくない

加藤シゲアキ他

誰に何を言われようと思いたくない場所もあれば、なんとなく気持ちののらない朝だってある。ふとしたきっかけでサボってしまうかもしれないし、人生を変えるような決意で回れ右をすることももあるかもしれない。ひとはいつでも「行きたくない」気持ちを抱えている。僕たちのそんな存在なさをそっと掬い上げる、刹那のきらめきを切り取った物語。



あの夏の正解

早見和馬

コロナ禍で甲子園が中止になった夏。夢を奪われた選手と指導者はどう行動したのか。2020年、愛媛の済美と石川の星稜、強豪2校に密着した元高校球児の作家は、彼らに会い、「甲子園のない夏、の意味を問い続けた。パンデミックに翻弄され、挑戦することさえ許されなかったすべての人に送るノンフィクション。



ユダヤ人を救った動物園

ダイアン・アッカーマン

ナチの侵攻を受けてポーランドではさまざまな抵抗運動がくり広げられた。ワルシャワ動物園の園長夫妻も、ユダヤ人300名に動物の名をつけて園内に匿い、逃亡の手助けをした。かたや民族の絶滅計画を、かたや貴重種の動物の救済計画を推し進めたナチのグロテスクさを描き出す。



俺ではない炎上

朝倉秋成

ある日突然、「女子大生殺害犯」とされた男。既に実名・写真付きでネットに素性が曝され、大炎上しているらしい。まったくの事実無根だが、誰一人として信じてくれない。会社も、友人も、家族でさえも。ほんの数時間にして日本中の人間が敵になってしまった。必死の逃亡を続けながら、男は事件の真相を探る。



風刺画が描いたJAPAN

若林悠

世界は日本をどのように見ていたのか。幕末から太平洋戦争前に至る世界各国の風刺画を集成し、親しみやすい解説を付してオールカラーで大集成した決定版。風刺画で見る近代日本通史。



戦争とバスタオル

安田浩一

あの戦争で「加害」と「被害」の交差点となった温泉や銭湯を各地に訪ねた二人旅。ジャングルのせせらぎ露天風呂にお寺の寸胴風呂、沖縄最後の銭湯にチムジルバンや無人島の大浴場……。至福の時間が流れる癒しのむこう側には、しかし、かつて日本が遺した戦争の爪痕と多くの人が苦しんだ過酷な歴史が横たわっていた。



LGBTQ+6人のハイスクール・ストーリー

野原くる

若いLGBTQ+の悩み、迷い、優しさ、そして勇気がギュッとつまった胸キュン・ストーリーを通じて、彼らの悩みを、知る、学ぶ、応援する。ここにいるのは、自分自身に正直であろうと、そして誰も傷つけないと葛藤するティーンたちばかり。周囲へのカミングアウト、初めてみつけた理解者や仲間たち、彼らとの適切な距離を保つことの難しさ。

本のリクエストは、こちらから！！

